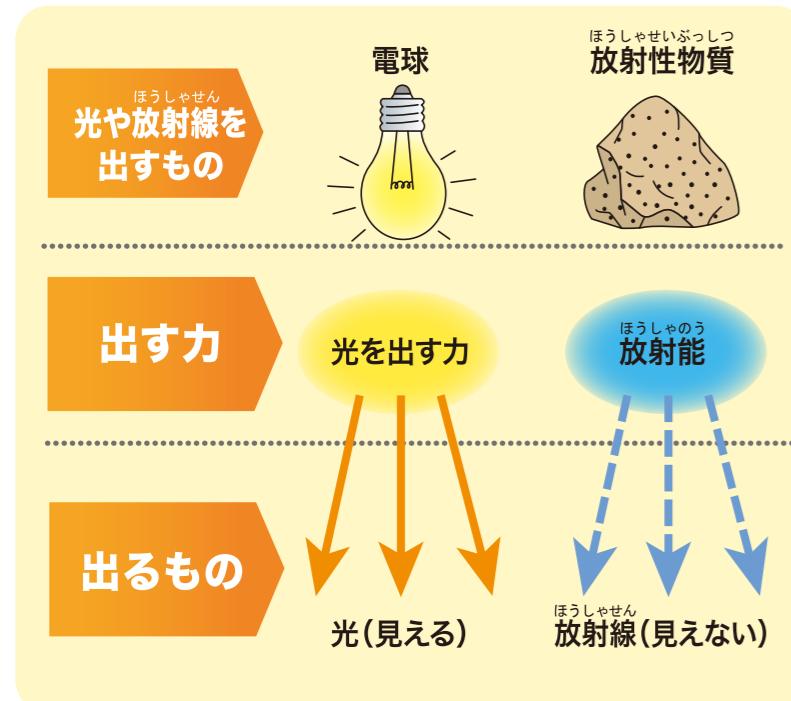


5 放射線のはなし

(1) 放射線ってどんなもの



(2) わたしたちのまわりの放射線



34ページの答え 問題1・① 問題2・① 問題3・②

放射線は、見たりさわったりできず、
においもありません。

放射線を出すものを「放射性物質」、放
射線を出す力を「放射能」といいます。

電球にたとえると、電球が放射性物質
で、電球から出る光が放射線になります。



わたしたちは、宇宙や空気、大地な
ど、身のまわりのいろいろなものから放
射線を受けています。

たとえば、わたしたちがいつも食べて
いる肉や野菜、海などからも、放
射線を受けているのです。

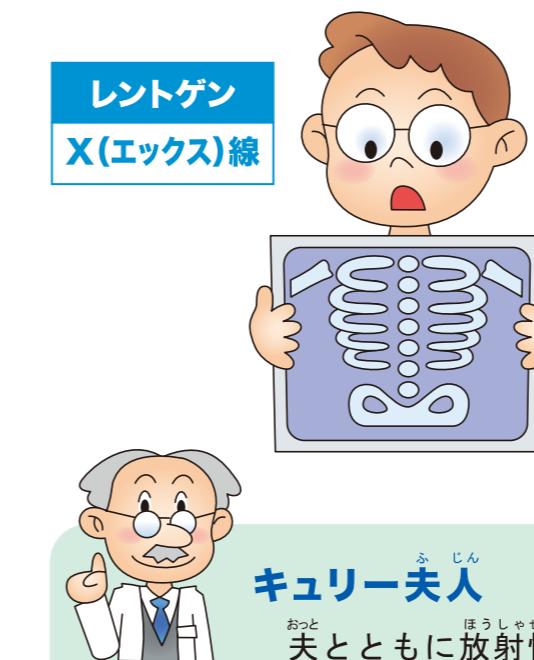
シーベルト

人の体が受けた放射線のえいきょうの大きさ
を表す単位

1 シーベルト=1,000 ミリシーベルト

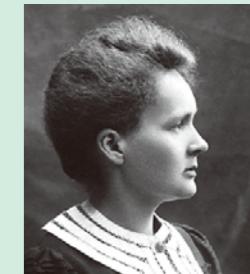
(3) 放射線の利用

レントゲン X(エックス)線



キュリー夫人

夫とともに放射性物質を取り出すために実験を行い、
1898年、ウランを含む石から放射性物質を取り出すことに
世界で初めて成功しました。これにより、キュリー夫妻
は、ノーベル物理学賞を受賞しました。



(4) 放射線はどうやって測っているの



放射線の量を測る機械
モニタリングポスト(名古屋市北区)

目標3 すべての人に健康と福祉を
目標12 つくる責任 つかう責任
身の回りの放射線を考えてみよう。

放射線は、わたしたちのまわりにある自然の放射線のほ
かに、病院などで使われている人工的な放射線があります。

放射線は、物を通りぬける性質があるため、レントゲン
(エックス線)で体を切らずに骨折などの様子をみることに
使われています。しかし、放射線をたくさん受けすぎると、
ガンややけどなどになることがわかっています。

愛知県では、ウクライナのチョルノーブリ原子力発電所
で起きた事故(1986年)をきっかけに、空気中の放射線を
機械(モニタリングポスト)を使って24時間測っています。
2021年度に愛知県が測った年間の空気中の放射線の量は
約0.52ミリシーベルトでした。また、2011年に起きた東日本大震災による福島第一原子力発電所事故の後も、大きな
変化はありませんでした。